

指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立 佐那河内いきものふれあいの里	特定非営利活動法人 大川原	指定管理候補者
	一般社団法人徳島地域エネギ-	—

（選定理由）

特定非営利活動法人大川原は、大川原高原の自然環境について熟知するとともに、施設利用者の安全確保や生物関係に係る専門性を考慮した管理運営体制を有しており、様々な年代層からの多様なニーズに対応した四季折々の自然の魅力を体験できる観察会及び体験イベント等の企画・実施など、適確な業務執行が期待できる。また、旭ヶ丸希少野生生物保護区を含む大川原高原一帯の多様な自然環境を活用した「生物多様性とくしま戦略」の普及啓発や人材育成に取り組む計画が提案されている。

経費面においても LED 照明への随時転換や台風等の自然災害による自然観察路等の損傷においても関係団体との協働により復旧を図るなど具体的な維持管理経費の削減が検討されている。

これらのことから、同法人はいきものふれあいの里の設置目的を達成するとともに、適切な維持管理運営ができると判断し、指定管理候補者に選定した。

2 選定委員会委員名簿

役職	氏名
株式会社あわわ会長	坂田 千代子
日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長	板東 喜代子
公認会計士	大西 仁幸
徳島県環境審議会委員	佐藤 征弥
県民環境部長	福井 廣祐
県民環境部県民環境政策課長	近藤 理恵
県民環境部自然環境戦略課長	小椋 昇明

3 選定の経緯

平成 26 年 7 月 25 日

第 1 回選定委員会

（募集要項の承認、審査基準及び選定要領の決定）

28 日

募集開始（募集要項の公表）

8 月 19 日

現地説明会の開催

9 月 12 日

募集要項配布終了

9 月 16 日～29 日

申請書類受付

10 月 27 日

第 2 回選定委員会

（書類審査、提案説明、質疑、選定結果決定）

28 日

選定委員会からの選定結果報告書受理

4 選定委員会における選定結果

施設名	申請等団体名	総合得点
徳島県立 佐那河内いきものふれあいの里	特定非営利活動法人 大川原	68.14
	(A団体)	54.46

5 指定管理候補者の提案内容

区分	特定非営利活動法人大川原の主たる提案内容												
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各年代のニーズにあわせて、四季折々の自然の魅力を体験できる各種イベントを企画・実施する。 ○ 旭ヶ丸希少野生生物保護区での自然観察・調査を通じて、絶滅危惧種等の重要性を考える機会を持ってもらう。 ○ 県立博物館、近隣の大学や、専門家と連携し、「生物多様性とくしま戦略」の普及啓発や人材育成に取り組む。 												
効率的な管理運営 (経済性の追求)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基準額（指定管理料）との比較（税込） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準額</th> <th colspan="2">提案額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,768,400円/年</td> <td>H27</td> <td>20,768,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>20,768,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>20,768,400円</td> </tr> </tbody> </table> ○ 適材適所の人員配置と年間作業計画を作成し、事業の効率化を図る。 	基準額	提案額		20,768,400円/年	H27	20,768,400円		H28	20,768,400円		H29	20,768,400円
基準額	提案額												
20,768,400円/年	H27	20,768,400円											
	H28	20,768,400円											
	H29	20,768,400円											
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門、担当に捉われず、相互に補い合う協力体制を構築する。 ○ 環境や施設運営に関する研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上を図る。 												
地域への貢献及び連携等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村内外の各種団体と連携・協働するとともに、相乗効果を活かし、より良好な協働関係を築く。 ○ 地元の小・中学校や住民が村内で実施する自然環境保全及び植生復元活動等に、積極的に参加、協力する。 												

6 選定委員会における選定結果（審査項目別得点）

審査項目	配点	NPO法人大川原	A 団体
◆県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮		15.71	15.18
・施設の管理運営方針（設置目的等）	5点	3.39	2.50
・利用者ニーズの把握・分析と利用促進等	5点	3.21	3.04
・自然観察会及び生物多様性の普及啓発活動の企画・実施	15点	9.11	9.64
◆効率的な管理運営（経済性の追求）		17.97	15.54
・適正な維持管理・安全管理	15点	10.18	8.04
・収支計画（提案内容等）	5点	2.86	2.50
・収支計画（提案額）	5点	4.93	5.00
◆安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況		23.75	15.17
・管理運営体制の整備	10点	6.79	5.00
・職員の専門性（経験、専門知識等）	15点	11.25	6.96
・財政基盤等	10点	5.71	3.21
◆地域への貢献及び連携等		10.71	8.57
・地域への貢献・連携 ・環境への配慮	15点	10.71	8.57
計	100点	68.14	54.46